３．ボランティア事業

３－１．青年海外協力隊事業

青年海外協力隊は、アジア、アフリカ、中近東、中南米、オセアニア、東欧などの開発途上、或いは、市場経済への移行期にある国々に対して、経済・社会の発展のために技術、技能を身につけた心身ともに健全な日本の青年を派遣して、各国の国づくりに協力しています。青年海外協力隊は、現地生活において職場生活と日常生活を途上国の人々と共にすることによって、開発途上国の人々の心情を理解し、お互いの信頼の上に立って国づくりをめざすことを目的としています。

青年海外協力隊の募集選考は都道府県の協力を得て、年２回（春、秋）実施されています。選考は第一次選考（筆記：技術、英語、青年海外協力隊員適性テストの３科目、各都道府県で実施）と、第二次選考（面接：個人・技術、健康診断、東京で実施）があり、第二次選考合格者は、約８０日間の派遣前訓練を経て、２年間の任期で開発途上国へ派遣されています。

青年海外協力隊参加にあたっては、訓練、派遣に係る諸経費（支度金、現地生活費、往復航空賃等を含む）、国内積立金（無職で参加の場合）、災害補償費等があり、全て青年海外協力隊事務局が負担しています。また、青年海外協力隊への休職参加が可能になった場合、青年海外協力隊事務局が所属先（地方公共団体・民間）に対し、人件費の一部を補てんする制度や、民間の場合はそのほかに間接経費の補てん制度を設けており、民間からも休職参加が容易に行われるようにしています。

派遣部門は、農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツの７部門から成っており、さらにこれを職種別に分類すると約１４０種類の多岐にわたっています。

最初の青年海外協力隊派遣は、昭和４０年に第一次隊２６名が、ラオス、カンボディア、マレイシア、フィリピンの４ヵ国に派遣されましたが、今日では地域も、アジアの他に中近東、アフリカ、中南米、オセアニア、東欧の全域に拡がり、これまで派遣された隊員実績内訳は、平成１４年３月３１日現在、全体で７５ヵ国２２，６５１名を数え、九州管内でも、２，９３６名（福岡１，０１０、佐賀１５３、長崎３２５、熊本４２３、大分２８９、宮崎２６９、鹿児島４６７）に達しています。平成１３年度の新規派遣隊員数は、１１３名（福岡４７、佐賀５、長崎８、熊本１８、大分９、宮崎１１、鹿児島１５）です。

途上国から増加する要請や高度化する要請内容に対応するため、九州国際センターでは、募集の拡充と応募者の発掘拡大に重点をおき、取り組んでいます。

当センターは、管内（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における主な業務として、募集説明会（春、秋）応募相談、帰国隊員の進路相談、パネル展、帰国隊員報告会、各種講演（大学、高校、中学、専門学校、各種団体）等を新聞等のマスコミ、県及び市町村等の地方公共団体、各県の協力隊を育てる会、ＯＢ会等各関係機関の協力を得て行っています。

（１）募集説明会

青年海外協力隊平成１３年度春･秋募集説明会日程

１３年　春				１３年　秋			
県名	期日	曜	説明会場	県名	期日	曜	説明会場
福岡	4月11日	(水)	アクロス福岡　大会議室	福岡	10月15日	(月)	アクロス福岡　大会議室
	4月17日	(火)	小倉ＫＫＭビル		10月18日	(木)	小倉ＫＭＭビル
	4月20日	(金)	アクロス福岡　円形ホール		10月25日	(木)	久留米市民会館
	4月25日	(水)	久留米くるみホール		10月29日	(月)	アクロス福岡　円形ホール
	5月 7日	(月)	小倉ＫＫＭビル		11月 7日	(水)	アクロス福岡　円形ホール
	5月11日	(金)	アクロス福岡　円形ホール		11月12日	(月)	小倉ＫＭＭビル
	5月17日	(木)	アクロス福岡　大会議室		11月13日	(火)	アクロス福岡　大会議室
佐賀	4月20日	(金)	はがくれ荘	佐賀	10月22日	(月)	はがくれ荘
	5月15日	(火)	はがくれ荘		10月30日	(火)	唐津市民会館
	5月16日	(水)	唐津シティーホテル		11月14日	(水)	はがくれ荘
長崎	4月13日	(金)	メルカつきまち	長崎	10月24日	(水)	メルカつきまち
	5月 7日	(月)	長崎グランドホテル		11月 3日	(土)	大村市男女共同参画推進センター
	5月14日	(月)	アルカス SASEBO		11月15日	(木)	メルカつきまち
熊本	4月13日	(金)	熊本市産業文化会館		11月16日	(金)	アルカス SASEBO
	4月25日	(水)	水俣市公民館	熊本	10月16日	(火)	熊本市産業文化会館
	5月 8日	(火)	玉名市勤労青少年ホーム		10月19日	(金)	玉名市勤労青少年ホーム
	5月16日	(水)	熊本市産業文化会館		11月 6日	(火)	熊本市産業文化会館
大分	4月11日	(水)	大分市コンパルホール		11月 7日	(水)	水俣市役所共済会館
	4月12日	(木)	エイトピアおおの	大分	10月19日	(金)	ｵｱｼｽひろば　大分県立総合文化ｾﾝﾀｰ
	5月 7日	(月)	中津文化会館		10月25日	(木)	ビーコンプラザ
	5月 8日	(火)	大分市コンパルホール		10月28日	(日)	中津文化会館
宮崎	4月18日	(水)	延岡市社会教育センター		11月14日	(水)	大分市コンパルホール
	4月19日	(木)	宮崎市中央公民館	宮崎	10月20日	(土)	宮日会館(宮崎日日新聞社)
	4月20日	(金)	都城市総合社会福祉センター		10月30日	(水)	延岡市社会教育センター
	5月 9日	(水)	宮崎市中央公民館		11月14日	(水)	都城市中央公民館
鹿児島	4月12日	(木)	鹿児島市町村自治会館		11月15日	(木)	宮日会館(宮崎日日新聞社)
	4月24日	(火)	鹿屋市中央公民館	鹿児島	10月26日	(金)	鹿屋市中央公民館
	5月14日	(月)	鹿児島市勤労者交流センター		10月26日	(金)	名瀬市中央公民館
	5月15日	(火)	川内市国際交流センター		10月27日	(土)	鹿児島県市町村自治会館
					11月15日	(木)	鹿児島市勤労者交流センター
					11月16日	(金)	川内市国際交流センター

（2）第一次選考会

各県会場において実施

	春募集　6月10日実施	秋募集　12月9日実施
福　岡　県	九州ビルディング 大ホール・桐の間・松の間	九州ビルディング　大ホール・桐の間
佐　賀　県	アバンセ　第2研修室B	若楠会館　天山の間
長　崎　県	長崎県農協会館　大会議室 702・703 号室	長崎県農協会館　701 号室
熊　本　県	ＮＴＴ熊本会館　阿蘇の間	ＮＴＴ熊本会館　阿蘇の間
大　分　県	大分県市町村会館　中・小会議室	大分県市町村会館　中・小会議室
宮　崎　県	婦人会館　ほうおうの間　はにわの間	婦人会館　ほうおうの間　からくにの間
鹿 児 島 県	ステーションホテルニューカゴシマ 芙蓉の間	城山会館　櫻島の間

九州地区選考結果推移表

平13春	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州	全国
説明会回数	7	3	3	4	4	4	4	29	247
参集者数	609	67	93	149	101	79	94	1192	10329
応募者数	157	26	35	36	32	39	45	370	3759
受験者数	119	18	28	19	20	27	31	262	2623
1次試験合格者数	43	9	13	12	9	8	13	107	1239
受験者数	40	7	11	11	8	8	13	98	1159
2次試験合格者数	17	4	3	5	3	7	7	46	558
有資格者数	3	1	3	1	0	0	1	9	97
2次合格＋有資格者	20	5	6	6	3	7	8	55	655

平13秋	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州	全国
説明会回数	7	3	4	4	4	4	5	31	245
参集者数	468	59	70	115	83	61	87	943	8114
応募者数	219	26	33	49	37	40	60	464	4256
受験者数	172	20	25	36	28	32	44	357	3087
1次試験合格者数	64	11	14	22	7	13	17	148	1603
受験者数	59	10	10	20	7	12	15	133	1491
2次試験合格者数	24	6	6	10	1	3	2	52	624
有資格者数	9	1	0	1	3	1	1	16	197
2次合格＋有資格者	33	7	6	11	4	4	3	68	821

（3）進路相談カウンセラー

昭和６１年に九州支部（現九州国際センター）に帰国隊員進路相談カウンセラーが配置されたのに続き、平成５年から、熊本県及び鹿児島県にも進路相談カウンセラーを配置し、九州に再就職を希望する帰国隊員の進路相談等に積極的に取り組んでいます。

（４）青年海外協力協会（ＯＢ会）活動に対する支援

各県の青年海外協力協会（ＯＢ会）が開催する講演会・展示会等行事の実施に関し協力業務を行っています。

（５）協力隊を育てる会（支援する会等も含む）

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の各県に設立されている、協力隊を育てる会が開催する総会・帰国隊員報告会等行事の実施に関し協力業務を行っています。

３－２．シニア海外ボランティア事業

シニア海外ボランティア事業は、４０歳から６９歳までの幅広い技術や豊かな職業経験を持つ中高年層を対象として、人材を募り開発途上国からの要請に応じたボランティア派遣事業であり、青年海外協力隊事業のシニア版ともいえる事業です。

本事業は、平成２年シニア協力専門家派遣事業として始まり、平成８年にはシニア海外ボランティアと名称を変更し今日に至っています。

本事業は、登録制をもとに実施しておりましたが、平成１２年度より年２回（春・秋）の公募制となりました。

分野は、計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会と多岐にわたっています。平成１３年度は、全国から３３７名を派遣しました。九州管内の新規派遣者は１９名で次表のとおりです。

平成１３年度シニア海外ボランティア派遣実績

	県名	派遣先		要請分野
		国名	派遣期間	
1	福岡	サモア	01.04.09-03.04.08	都市衛生
2		フィジー	01.04.09-03.04.08	船員教育
3		パナマ	01.10.22-02.10.22	システムエンジニア
4		マレイシア	01.10.24-03.10.23	手工芸
5		インドネシア	01.10.30-03.10.29	鉄道
6		ジョルダン	02.01.08-04.01.07	教育
7	佐賀	ウルグァイ	01.04.03-03.04.02	文化
8		インドネシア	01.08.14-03.08.13	業務調整
9	長崎	インドネシア	01.04.03-03.04.02	淡水養殖
10		タイ	01.11.28-03.11.27	陶器生産
11	熊本	ホンデュラス	01.04.05-02.12.05	自動車整備
12		マレイシア	01.10.24-03.10.23	農業経営
13	宮崎	パプア:ニューギニア	01.04.04-03.04.03	建設・機械
14		フィジー	01.11.19-06.11.18	自動車整備
15		フィジー	01.11.19-02.11.19	道路
16	鹿児島	ホンデゥラス	01.04.05-02.04.05	食品加工
17		ドミニア共和国	01.11.12-03.11.11	農業一般
18		ラオス	01.11.27-03.11.26	都市衛生
19		タイ	01.11.28-02.11.28	労働衛生

４．日系社会支援事業

明治元年に日本人の海外移住が始まって以来１２０余年の歴史を経た今日、その子孫を含め２５０万人の日系人が南北米を中心に世界各国で活躍しています。

海外移住は個人が自己の能力を発揮するその活躍の場を海外に求めることですが、移住が移住者個人の経済及び技術の海外移転であり、また文化の伝播であること、そして移住者が移住先国の繁栄に大きく寄与している現況などから、人的な国際協力であると言うことができます。

これまでの海外移住は南米（ブラジル、アルゼンティン、パラグァイ、ボリヴィア）への農業移住が主要を占めていましたが、近年はカナダ、オーストラリアへの技術移住も加わり、さらに、昭和６０年度から「海外開発青年制度」が発足し、管内から３３名（福岡１２名、佐賀１名、長崎４名、熊本５名、大分１名、宮崎４名、鹿児島６名）の若者が中南米の日系団体のもとで活動しま

した。

一方、内外情勢の変化に対応するため、当事業団は平成６年度より海外移住事業の再編を行い、移住者の送出業務を中止することになりましたが、当センターでは管内の関係諸団体の協力を得て次の業務の実施や、支援を行っています。

４－１．日系研修員の受入れ

日系人を通じた技術協力の一環として、中南米地域の日系人を研修員として日本へ招き、日本の先進技術・知識を習得してもらい、帰国後、有能な人材として日系社会及び地域社会の発展に貢献できるよう、管内の大学、民間団体等において技術研修を実施しました。

平成１３年度日系研修員の九州管内受入実績（継続含む）

種別	氏　名	性別	出身国	研修機関	研修職種	研修期間
個別長期技術	Karen Shuyama	女	コロンビア	鹿児島大学	母子保健医療システム臨床疫学的方法	01. 7.10～02. 6.28
	Daniela MURAMATSU	女	ブラジル	九州大学天草臨海実験所	珊瑚種の環境学的様相に係る研究	02. 3.31～03. 3.28
個別短期技術	Ii-Sei Watanabe	男	ブラジル	福岡大学	電子顕微鏡を使用した高画質走査技術に関する研究	00.11.13～00.12. 4

４－２．日系社会青年ボランティア事業

日系社会青年ボランティア事業は、昭和６０年に海外開発青年制度として開始された事業です。中南米諸国への日本人青年の移住を促進することを目的として、平成５年までに約３００人を送出した結果１００人程の青年の現地定着を果たしてきましたが、平成６年度に事業の主目的が日系人社会への支援に変更されたことで、平成８年度より日系社会青年ボランティア事業と名称を変更し今日に至っています。

本ボランティアは、毎年１回全国募集を行い、主に農林・水産、工業技術、教育・文化分野での専門技術を有し、ボランティア精神に富んだ２０歳から３９歳までの方々を対象に選考を行い、合格者は集中研修の後２年間中南米の現地日本人会や公共・公益的な日系団体に派遣されます。

平成１３年度の実績は次のとおりです。

平成１３年度　日系社会青年ボランティア九州地区結果推移表

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州
応募者数	30	0	4	1	1	3	7	46
受験者数	22	0	3	1	0	3	4	3
１次試験合格者数	15	0	3	0	0	1	1	20
２次試験合格者数	1	0	1	0	0	1	1	4
繰上合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
最終合格者数	1	0	1	0	0	0	1	3

４－３．日系社会シニアボランティア事業

日系社会シニア・ボランティアは、日系社会青年ボランティアと同じく中南米の日系人、社会への支援を目的として、優秀な技術を有しボランティア精神にあふれた４０歳から６９歳までの中高年層を対象として、１年～２年間派遣する制度です。

平成２年度に開始した本事業は公募制により日本語教育、保健衛生・福祉、農業分野について、年１回募集と選考を行っています。

平成１３年度は、全国から２３名が派遣されました。

九州管内の新規派遣者は、１名で次表のとおりです。

平成１３年度　日系社会シニアボランティア派遣実績

	県　名	派　遣　先		指導科目
		国　名	団　体　名	
1	福　岡	ブ ラ ジ ル	ノロエステ連合日伯文化協会	日　本　語

４－４．海外移住家族会総会

Ⅰ．　家族会総会

平成 13 年 4 月 19 日　福岡県海外移住福岡地区家族会総会　福岡市

平成 13 年 4 月 27 日　福岡県海外移住北九州地区家族会総会　北九州市

平成 13 年 5 月 11 日　両筑地域海外移住家族会総会　浮羽町

平成 13 年 5 月 16 日　福岡県海外移住筑豊地区家族会総会　飯塚市

平成 13 年 7 月 5 日　福岡県海外移住家族会総会　福岡市

平成 13 年 10 月 26 日　両筑地域海外移住協会総会　吉井町

Ⅱ．　世界大会

平成 13 年 9 月 10 日～13 日

第 4 回海外福岡県人会世界大会　　福岡市

※九州国際センター所長が実行委員として準備段階から本行事に参加した。

５．技術協力専門家派遣事業

ＪＩＣＡ本部が行っている専門家派遣事業の内、当センターでは関係機関への資料の配布並びに登録希望者への相談、受付及び海外において技術協力活動に従事する意志のある方の一般公募を実施しました。

また各県で組織されているＪＩＣＡ派遣専門家連絡会の活動を支援しました。

（1）ＪＩＣＡ派遣専門家連絡会の活動

福 岡 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数３４９名）

佐 賀 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数３０名）

長 崎 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数４８名）

熊 本 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数５５名）

大 分 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数８１名）

宮 崎 県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数２３名）

鹿児島県：ＪＩＣＡ情報の発信・地域の国際協力事業への参加・講師の派遣等
（会員数６１名）

合計６４７名

６．小規模開発パートナー事業等

近年、多様化する開発途上国のニーズに応えるために、「地域との連携」、「市民参加」による国際協力が必要とされています。開発パートナー事業と小規模開発パートナー事業は、地方自治体や大学、ＮＧＯと連携した事業を進める国際協力です。

九州においても地域のノウハウを国際協力に活かしてもらうよう、案件形成の段階から提案団体と一緒にＫＩＣが行っています。

６－１．開発パートナー事業

自治体やＮＧＯ、研究機関などが持つ技術、経験、ノウハウを国際協力に活かすことを目指し、平成11年度から開発パートナーシップ事業が始まりました。採択されたプロジェクトはＪＩＣＡとの委託契約に基づき実施します。

本年度、九州地区から採択された案件はありません。

６－２．小規模開発パートナー事業

平成１１年度に始まった開発パートナー事業に引き続き、さらに草の根国際協力の裾野を広げるために、平成１２年度より始まったのが小規模開発パートナー事業です。団体規模は問わず、途上国のニーズへのきめ細やかな対応に期待しています。開発パートナー事業と同様に、採択されたプロジェクトはＪＩＣＡとの委託契約に基づき実施します。

平成12年度　小規模開発パートナー事業　採択案件

団体名	案　件　名	国　名
ヴィエトナム社会主義国における頭頸部癌治療と音声リハビリテーションプロジェクトを支援するボランティアの会	ヴィエトナムに於ける頭頸部癌治療と音声リハビリテーション	ヴィエトナム

今年度は平成１２年度に採択された「カンボディア国　同一配水システムの構築を目指す都市への技術・機材支援（北九州市水道局）」の実施が平成１３年８月１５日の契約をもって開始され、平成１４年３月３１日に業務が完了しました。

Ⅲ. 事業実施基盤強化

Ⅲ．事業実施基盤強化

１．広 報 活 動

ＯＤＡ事業への理解を深め、市民参加型の国際協力を実現するために、様々な広報活動を行いました。

１－１．広報関連事業

１）国際協力フェア

・「地球人まつり２００１inおおすみ」共催

主　催　（財）鹿児島県国際交流協会

期　日　５月１３日

場　所　霧島ケ丘公園（鹿児島）

・「北九州博覧祭２００１」グローバルアジア館参加

主　催　北九州市

期　日　７月４日～１１月４日

場　所　北九州博覧祭会場内（福岡）

・「ＦＭラジオエアーヒビッキーMEET THE WORLD（北九州博覧祭 2001)」出演

期　日　７月４日～１１月４日（毎週土曜日１７：３０～１７：５０）

場　所　北九州博覧祭会場内（福岡）

・「地球生活体験学習」

主　催　ＪＩＣＡ九州国際センター

期　日　８月４日、９月２日、１０月７日

場　所　北九州博覧祭会場内（福岡）

・「ユースフォーラム」共催

主　催　海外協力センター・福岡

期　日　８月２１日～２３日

場　所　福岡市立油山青年の家（福岡）

・「ODA タウンミーティング」共催

主　催　外務省

期　日　９月２１日

場　所　天神ビル（福岡）

・「北九州国際交流ウィーク」共催

主　催　北九州国際交流ウィーク実行委員会

期　日　９月３０日～１０月７日

場　所　北九州市国際村交流センター周辺（福岡）

・「南薩アフリカまつり」共催

主　催　清水校区まつり実行委員会

期　日　１０月２１日

場　所　清水小学校（鹿児島）

・「パキスタン事務所長講演会」共催

主　催　梅光学院大学女子短期大学部

期　日　１０月２４日、２５日

場　所　下関商工会議所（山口）、北九州市立国際村交流センター（福岡）

・「地球市民どんたく」共催

主　催　「地球市民どんたく」実行委員会、（財）福岡国際交流協会

期　日　１１月１０日、１１日、１１月１８日

場　所　ソラリアプラザ・ゼファ、天神ビル（福岡）

・「鹿児島国際フェスティバル」参加

主　催　（財）鹿児島県国際交流協会

期　日　１１月１０日、１１日

場　所　鹿児島港本港区中央緑地（鹿児島）

・「ながさき国際協力・交流フェスティバル」協力

主　催　（財）長崎県国際交流協会、ながさき国際交流・協力フェスティバル実行委員会

期　日　１０月２８日

場　所　おくんち広場（長崎）

・「２１世紀佐賀国際交流フェア」

主　催　２１世紀佐賀国際フェア実行委員会（佐賀県、佐賀市、（財）佐賀県国際交流協会、佐賀市、ＪＩＣＡ九州国際センター）

期　日　１０月２７日、２８日

場　所　アバンセ、どん３の森（佐賀）

・「第２回インターナショナルフェスティバル」後援

主　催　宮崎県、（財）宮崎県国際交流協会

期　日　１１月１７日、１８日

場　所　　宮崎市文化の森（宮崎）

・「国際協力シンポジウム」参加

主　催　　宮崎市、（財）宮崎県国際交流協会

期　日　　１１月１９日

場　所　　宮崎市民文化ホール　イベントホール（宮崎）

・「国際協力講演会」共催

主　催　　鹿児島市国際交流市民の会、
　　鹿児島県青年海外協力隊を支援する会、
　　青年海外協力隊鹿児島県ＯＢ会

期　日　　１２月９日

場　所　　稲盛会館ホール（鹿児島）

２）ＯＤＡ民間モニター

日本が実施するＯＤＡの現場を市民の人に視察してもらい、率直な意見、提言、評価をもらうことを目的に、平成11年度から実施されている事業です。国際協力推進協議会（ＡＰＩＣ）との共催により、募集、派遣を行いました。九州地区のモニターの応募状況および実施内容は下記のとおりです。

応募者数　　４３４名（全国５，２３０名）

派遣期間　　平成１３年１０月１４日～２１日

派遣国　　マレイシア

参加者　　１４名

帰国報告会　　平成１３年１１月３日（熊本市産業文化会館）

３）中高生・市民海外研修便宜供与

それぞれの海外研修プログラムの現地での青年海外協力隊員活動現場視察やプロジェクト視察、ＪＩＣＡ事務所訪問などで便宜供与を行いました。

・鹿児島青少年国際協力体験事業

・平成１４年度国際理解教育を中心にした修学旅行への事前視察
　（宮崎県延岡工業高等学校）

・佐土原町国際交流派遣事業

１－２．開発教育・国際理解教育の推進

ＪＩＣＡではエッセイコンテストをはじめとして、国際協力について考える場を学校教育現場等に提供しています。また、日本のＯＤＡ（政府開発援助）や開発途上国一般の情報提供や青年海外協力隊員ＯＢ・ＯＧなどの派遣を通して、開発教育・国際理解教育支援を実施しています。

平成１２年度からは、当センターの研修員との交流プログラムを北九州市内を中心に開始し、総合的学習時間の本格的な導入に向けて、積極的な支援活動を行っています。

(1)　高校生エッセイコンテスト

九州各県から１，１６０点（全国１０，０５６点の１１．５％）の応募があり、選考の結果、準特選２名（熊本県立熊本高等学校２年川上しおりさん、鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校３年三宅朋美さん）をはじめ、優秀賞１名、入選４名をはじめ２２作が入賞しました。準特選の２人は副賞としてヴィエトナムへの研修旅行に参加しました。

(2)　中学生エッセイコンテスト

九州各県から１，２６０点（全国１２，０４２点の１０．５％）の応募があり、選考の結果、大分大学教育福祉科学部附属中学校２年佐藤優さんが特選に選ばれ、副賞としてマレイシア・シンガポールへの海外研修に参加しました。そのほかにも、準特選１名、審査員特別賞１名、優秀賞２名、入選３名をはじめ２８作が入賞しました。

(3)　インターナショナルキャンプ（夏・春）

今年度の新規事業として、北九州市、（財）北九州国際交流協会、（社）青年海外協力協会、北九州市国際理解教育研究会（Ｈ１４春から）の共催で、北九州市内中学生を対象に研修員との交流や、研修コースの見学、青年海外協力隊による体験談等を通して「国際理解・国際協力」への理解を深めました。

期　日　　夏　平成１３年８月１７日、１８日
　　春　平成１４年３月２４日、２５日
場　所　　ＪＩＣＡ九州国際センター
参加者　　夏　北九州市内中学校３校（１６名）の教師及び生徒

春　北九州市内中学校８校（４８名）の教師及び生徒

(4)　高校生ＯＤＡ実体験プログラム

九州地区より集まった６校３３名の高校生及び引率の教員が参加したこのプログラムでは、ゲームやワークショップを通じて「国際協力」や「貧困」について考えたり、研修員との交流を体験しました。

期　日　平成１３年８月２０日～２２日
場　所　ＪＩＣＡ九州国際センター
参加者　九州地区の高校６校（３３名）の教師及び生徒
（宮崎県立延岡工業高等学校、沖学園隆徳館高等学校、宮崎県立都濃高等学校、鹿児島県立志布志高等学校、大分県立日出暘谷高等学校、長崎県立島原農業高等学校）

(5)　インターンの受け入れ

平成１１年より、総務課では大学院生のインターンを受け入れています。今年は広島大学大学院で学ぶ山田貴子さんをインターンとして受け入れました（8/9～9/22)。そして、本年より業務課でも大学生のインターン受け入れを始め、アジア太平洋立命館大学から倉田野依さん（8/2～8/29)、山本裕美加さん（2/12～3/3）を受け入れました。

(6)　大学生のための国際協力体験セミナー

大学生対象の国際協力セミナーを開催しました。大学院生インターンが中心に企画・運営した本プログラムでは、「開発プロジェクトづくり」を行ったり、研修員との交流を体験しました。

期　日　平成１３年９月１３日
場　所　ＪＩＣＡ九州国際センター
参加者　大学生９名（筑紫女学園大学）

(7)　中学教師・高校教師の海外研修派遣

授業やクラブ活動で開発教育を実施している先生方に、開発途上国の現状や国際協力の現場を視察していただき、その経験を授業に生かしてもらうことを目的に、九州地区の選抜中学校６校の担当教師をホンデュラスへ、選抜高校３

校の担当教師をマラウィへ派遣しました。

・ホンデュラス研修（中学校教師対象）

板倉　美穂子教諭（長与町立長与第二中学校）、岩本　辰明教諭（田川市立金川中学校、山村　良一教諭（大分市立大東中学校）、野上田　香代子教諭（市来町立市来中学校）、深水　教子教諭（平戸市立中部中学校）、中村　圭介教諭（大分市立稙田南中学校）

・マラウィ研修（高校教師対象）

鹿野　敬文教諭（福岡県立修猷館高等学校）、渡辺　佳奈教諭（長崎県立長崎南商業高等学校）、松岡　仁志教諭（鹿児島県立鹿児島盲学校高等部）

(8)　ＪＩＣＡ職員及び協力隊ＯＢ・ＯＧ等の講師派遣

・サーモンキャンペーン　１３６回実施

・福岡県「教室から世界をのぞこうプログラム」　１６７回実施

・鹿児島県「留学生と協力隊ＯＢが先生」　５８回実施

(9)　ＪＩＣＡ研修員との国際交流活動

北九州市内の小中学校を中心に、学校のある第一・三土曜日に当センターに滞在する研修員との交流プログラムを２６回実施しました。研修員による国の紹介や、生徒からの日本文化紹介、ゲーム交流などを通じて、文化交流・国際理解学習を行いました。

(10)　九州国際センター訪問

センター訪問を受け付けています。九州国際センターの施設案内やＪＩＣＡ事業の説明を行います。今年は総合的な学習の取り組みの中で、学校からの訪問が多く、ＪＩＣＡ事業の説明のみならず研修員との交流の機会を設け、子ども達の国際理解教育の一助をしています。今年は計２４団体からの訪問を受け入れました。

(11)　管内各県高等学校国際教育研究協議会への支援

管内の高等学校により組織される本協議会に対して、国際教育や開発教育の側面的支援を図りました。具体的には、各地での夏期・秋期（生徒）研修会、弁論大会、研究発表会、学校（文化）祭等における写真パネルの貸し出し等を

行いました。

(12) 国際協力市民講座の開催

・「かごしま国際理解講座」（財）鹿児島国際交流協会とともに主催

第１回	５月１９日	講師	川崎	久美氏	元協力隊員
第２回	７月１４日	講師	西村	宏子氏	元協力隊員
第３回	１月１２日	講師	竹下	宗一郎氏	JICA 専門家
第４回	３月　９日	講師	藤	浩志氏	元協力隊員
			宮薗	広幸氏	元協力隊員
			小川	景一氏	元協力隊員

(13) ユニセフセミナー

北九州市内中高生対象にボランティアセミナーを（財）日本ユニセフ協会北九州支部を中心に実行委員会を立ち上げ実施しました。世界の子ども達の現状についてユニセフの活動を通して学び、車椅子体験などを通して、戦渦にある子ども達の生活を疑似体験しました。また、研修員との交流もおこないました。

期　日　平成１４年３月３０日

場　所　ＪＩＣＡ九州国際センター

参加者　北九州市内中高生及び教員・保護者　計１８６名

(14) 開発教育関連セミナーの開催

「総合的な学習の時間」に向けて、教員を対象に参加型学習の手法を伝えるセミナーを実施しました。また、協力隊ＯＢ／ＯＧを講師として派遣する機会が増えていることをうけ、協力隊ＯＢ／ＯＧを対象としたプレゼンテーション講習会等を実施しました。

・「開発教育指導者研修」主催

期　日　平成１４年１月２６日、２７日

場　所　水前寺共済会館（熊本）

参加者　熊本県内教員及び国際理解教育実施団体等　96 名

・「開発教育九州沖縄地域セミナー　in　宮崎」共催

主　催　開発教育九州沖縄地域セミナー　in　宮崎実行委員会

期　日　平成１４年２月１０日、１１日

場　所　ホテルプラザ　宮崎（宮崎）

参加者　教職員及び学生等　２２０名

・「協力隊ＯＢ・ＯＧのためのプレゼンテーション講習会」

期　日　平成１４年３月１６日、１７日

場　所　阿蘇いこいの村（熊本）

参加者　協力隊ＯＢ・ＯＧ等　１８名

・「国際理解講座」共催

期　日　平成１４年３月２４日

場　所　ソフィアホール（大分）

参加者　大分県民及び県内在住外国人　３７０名

・「総合的な学習の時間に向けた国際理解教育セミナー」主催

期　日　平成１４年３月２５日

場　所　福岡市教育センター（福岡）

参加者　教職員等　８０名

・「青年海外協力隊ＯＢ・ＯＧ教員との意見交換会」

期　日　平成１４年３月２６日

場　所　ステーションホテルニュー鹿児島（鹿児島）

参加者　協力隊ＯＢ・ＯＧ教員等　２０名

1－3．国際協力講演

	実施日時	都道府県 講師 講義内容	派遣先 種別	所属先	受講対象者	受講者人数
1	平成13年5月15日(火) 13：00～13：30	福岡県 伊坂潔 いきいき人生海外ボランティア	八幡ロータリークラブ 所長	九州国際センター	一般人	約70
2	平成13年6月11日(金) 10：35～12：10	大分県 伊坂潔 (1)日本のODAの現状と今後の課題について	立命館アジア太平洋大学 所長	九州国際センター	特殊講義-ビジネス理解Ⅰ(日	108
3	平成13年6月4日(月) 14：00～16：00	福岡県 伊坂潔 海外の農業情勢および国際協力事業団の活動について	北九州地域農業改良普及センター 所長	九州国際センター	研修会参加者	15
4	平成13年6月6日(水) 9：30～10：30	福岡県 伊坂潔 国際協力事業団の活動について	北九州市年長者研修大学 所長	九州国際センター	年長者研修大学受講生	20
5	平成13年6月27日(水) 15：00～16：30	福岡県 伊坂潔 インドネシアにおける国際協力事業団の活動	大分県 所長	九州国際センター	大分県青年招へい研修員	30
6	平成13年8月21日(火) 10：30～12：00	福岡県 伊坂潔 国際貢献における自治体の役割	北九州市消防局訓練研修センター 所長	九州国際センター	消防職員	100
7	平成13年10月5日(金) 9：00～9：30	福岡県 伊坂潔 Japan's ODA and the role of JICA	シーホークホテル&リゾート 所長	九州国際センター	学長	200
8	平成13年10月17日(水) 10：00～11：00	熊本県 伊坂潔 ＪＩＣＡの事業内容について	熊本厚生年金会館 所長	九州国際センター	中国・四国・九州地区国際企業	40
9	平成13年10月31日(水) 10：30～12：00	鹿児島県 伊坂潔 世界の開発援助の潮流	鹿児島大学 所長	九州国際センター	学生	236
10	平成13年11月18日(日) ～	福岡県 伊坂潔 地域に根ざした国際協力の推進に向けて	北九州国際会議場 所長	九州国際センター	自治体職員、企業、市民	100
11	平成13年12月21日(金) 10：35～12：10	大分県 伊坂潔 日本の対外援助の現状とＪＩＣＡの役割	立命館アジア太平洋大学 所長	九州国際センター	特殊講義-ビジネス理解Ⅰ(日	99
12	平成14年2月20日(水) 13：45～14：35	長崎県 山口薫 海外ボランティア(青年海外協力隊)についての内容や現地での体験談	島原市立第三中学校	協力隊ＯＢ・ＯＧ	中学２年生１名、３年生１９名	20
13	平成14年3月30日(土) 9：45～10：45	福岡県 山口三郎 ボランティア事業と国際協力	北九州市中高生ユニセフセミナー 所長	九州国際センター	北九州市内中・高校生教	186

総件数　１３件　　受講者総数　１，２２４人

１－４．ＮＧＯ－ＪＩＣＡ合同ワークショップ

今年度、北九州で初めて本ワークショップが開催されました。ＮＧＯ福岡ネットワークと準備委員会を立ち上げ、国際協力を実施する機関の連携及び九州ＮＧＯのネットワークづくり、ＮＧＯ、ＪＩＣＡの能力向上・相互研修を目的に実施しました。

期　日　平成１４年３月２日、３日

場　所　３月２日　ＪＩＣＡ九州国際センター

　　３月３日　天神ビル　１１Ｆ

内　容　３月２日　ＰＣＭ１日入門講座

　　（ＮＧＯスタッフ・ＪＩＣＡ職員対象の能力向上研修）

　　３月３日　分科会及び全体会

　　（九州をはじめとした様々な国際協力の事例を５つの分科会にわかれて情報交換・情報共有）

参加者　３月２日　ＮＧＯスタッフ等　２３名、ＪＩＣＡ職員等　１０名

　　３月３日　ＮＧＯ・市民・学生等　約１３０名

２．図書室の利用状況

（１）利用案内

開室時間　月～金　10：00～19：00（外部利用は、11：00～18：00）

休 室 日　土・日、祝日、８月１日、１２月２９日～１月３日

利 用 者　（貸出）センター受入研修員、センタースタッフ、他関係機関

　　（閲覧）一般利用者

　　＊学校等団体へは、ＪＩＣＡの広報ビデオ及び国際理解・開発教育関連書籍の貸出を行っています。

平成１３年度の入室者総数は、４，１７０人でした。

（２）所蔵資料構成

研修員を対象に、技術工学、地域・社会事情、日本文化、参考図書を中心に収集しています。また、日本人を対象に、ＯＤＡ・ＮＧＯ・国際理解に関するもの、途上国事情、参考図書を中心に収集しています。

平成１３年度末現在の所蔵資料数は、１１，０１１点。うちビデオ１，２４１

点、語学カセット５９点、CD-ROM １５２点、FD ２点、DVD １１点、雑誌４５タイトル、ＪＩＣＡ刊行物１，６７６点、研修コーステキスト２１９点です。他関係機関のニューズレター等も保有しています。

洋　書

・技術／工学

非破壊検査技術、工業規格、生産工学、機械工学、電子工学、自動制御、コンピュータ関係、金属工学（鉄鋼、溶接）、化学工業、熱工学など。

・産　業

水産業（養殖）

・自然科学

数学、力学、物理学、生態学、医学（免疫学、歯学、熱帯医学、公衆衛生）

・各地域に関するもの

日本の歴史、地理、政治・経済・社会文化事情。研修員の出身国に関するもの。

・ペーパーバック（フィクション、ノンフィクション）

・語　学

各国の言語辞書（英語／仏語／西語／葡語／アジア地域言語／ロシア、東欧地域言語）

・参考図書

技術工学、自然科学、他各種百科事典。

和　書

洋書とほぼ同じ内容です。その他、途上国事情に関するものや、ＯＤＡ・ＮＧＯ、国際理解に関するものを多く揃えています。

視聴覚資料

・ビデオ

英語版では、日本紹介ビデオ（歴史、社会文化事情、伝統行事、日本語教材）、他に研修コースに関連する教材ビデオ（主に、生産工学、環境工学、機械工学など）があります。

日本語版では、ＪＩＣＡ事業やＯＤＡ事業を紹介した広報ビデオがありま

す。

・ＤＶＤ

昨年度、ＤＶＤプレイヤー１台が導入されました。

・語学カセットテープ

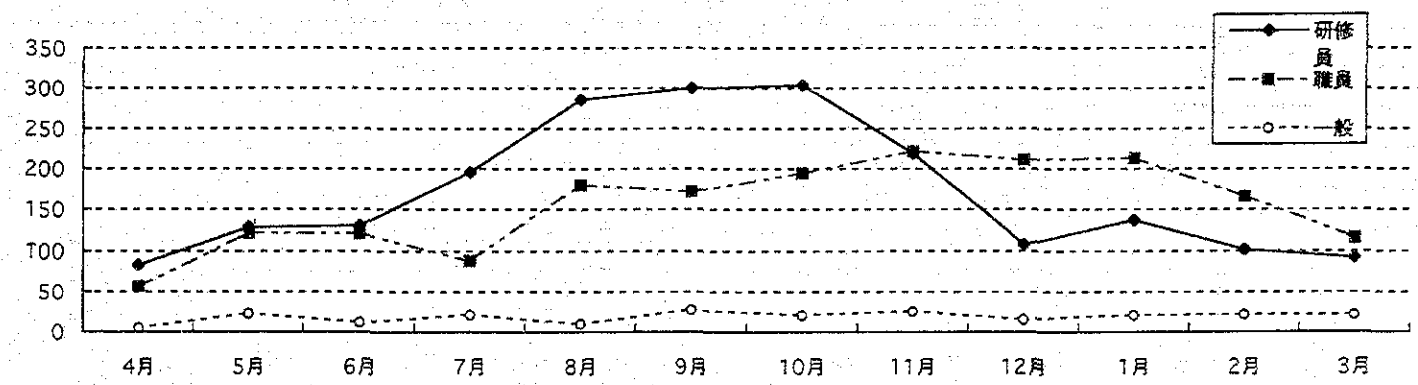
英語、仏語、西語、蘭語などの自習用テープ。

雑　誌

英語版では、研修コースに関連する医学・技術／工学などの専門誌と、地域研究誌、経済誌、外交専門誌、自然科学誌があります。

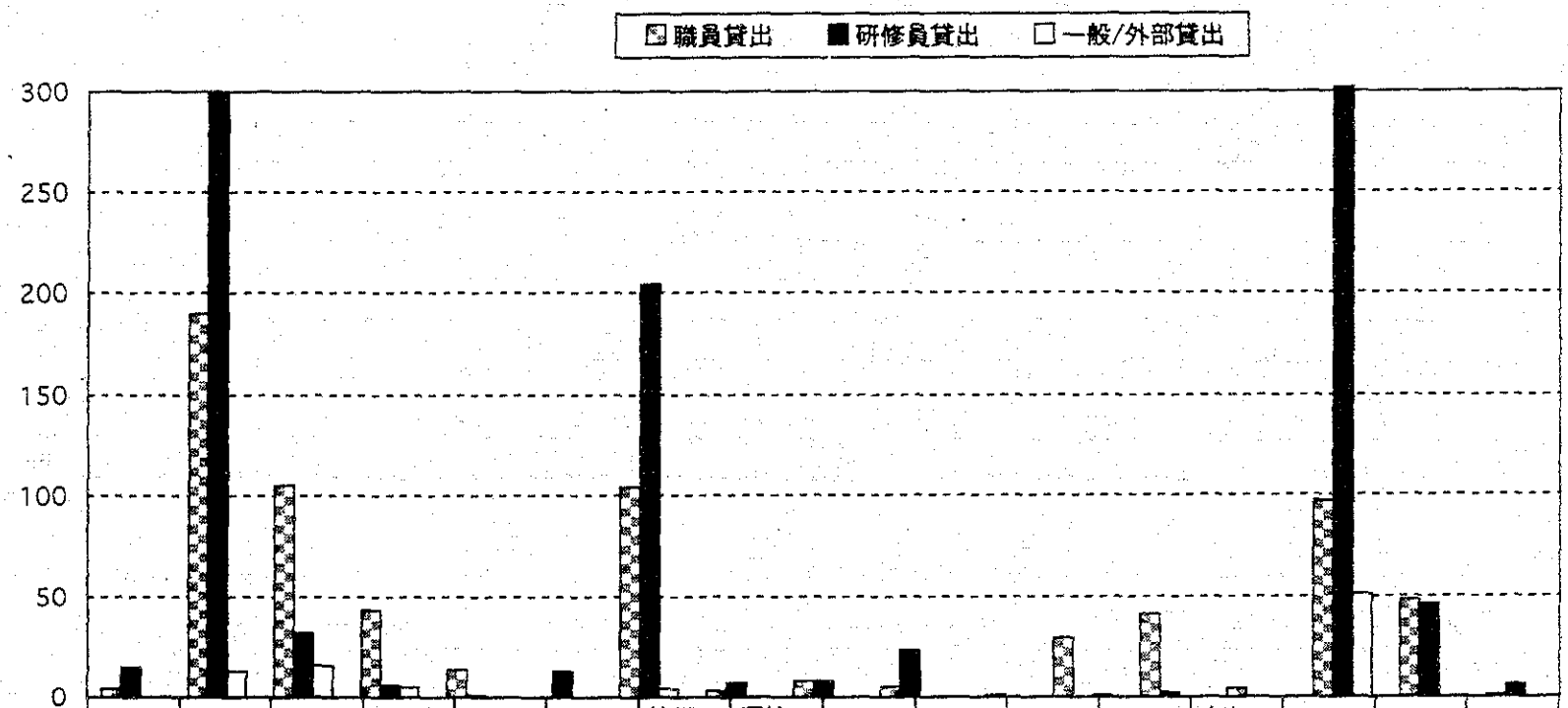
日本語版では、ＪＩＣＡをはじめ各関係機関が発行する国際協力関係誌や、経済誌、自然科学誌があります。

平成１３年度　図書室利用状況実績（2001年4月～2002年3月）



年	月	研修員		スタッフ		一般	合計	
		利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	利用者数	貸出冊数
2001年	4月	84	127	57	31	5	146	158
	5月	128	197	122	62	22	272	259
	6月	130	151	121	61	12	263	212
	7月	196	213	89	45	21	306	258
	8月	286	425	180	65	10	476	490
	9月	300	403	172	53	27	499	456
	10月	304	307	195	106	20	519	413
	11月	219	184	222	62	25	466	246
	12月	108	36	211	32	15	334	68
2002年	1月	137	82	213	85	20	370	167
	2月	102	75	166	55	21	289	130
	3月	93	162	116	39	21	230	201
累計		2087	2362	1864	696	219	4170	3058
平均（月）		173.9	196.8	155.3	58.0	18.3	347.5	254.8

平成13年度　分類別統計（貸出利用冊数または本数状況）



	総記	人文科学	社会・産業	経済・開発	政治・法律	自然科学	技術・工学・資源	運輸・交通・通信	医学	DVD	CD	JICA資料	カセットテープ	視聴覚資料	雑誌	その他
職員貸出	4	190	105	43	14	0	104	3	5	0	29	41	4	97	48	1
研修員貸出	15	300	32	6	1	13	204	7	23	1	0	2	0	1698	46	6
一般/外部貸出	0	13	16	5	0	0	4	0	0	0	1	0	0	51	0	0

視聴覚＝ビデオ、カセットテープ、スライド

＊国際協力事業団図書資料分類法使用

３．研 修 支 援

３－１．研修員の福利厚生

3-1-1. 研修員の健康管理

（１）健康診断

健康診断受診対象者は６ヶ月以上の滞在者となっており、平成１３年度の健康診断受診者は１６名でした。(健康診断実施機関：産業医科大学)

（２）健康相談室

当センター内には健康相談室があり、嘱託医師及び看護婦が研修員の健康相談に応じています。平成１３年度の相談実績は、延べ１６８名でした。

平成１３年度九州国際センター健康相談室利用者数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	1	6	15	18	15	8	3	2	3	3	5	86
外科													0
皮膚科	1	2	4	4	5	1	1	4	2	1	9	2	36
耳鼻科	1				1	1					2		5
整形外科	1		3	7	3	2		1			1		18
眼科				2				1					3
歯科					1		1						2
婦人科													0
肛門科													0
泌尿器科													0
精神科	1	1		3	5	1		1	1	1	1		15
その他	1			1		1							3
合計	12	4	13	32	33	21	10	10	5	5	16	7	168

（３）外部医療機関受診者件数

当センターの健康相談室の指導を受けた研修員及び九州国際センター以外に滞在している研修員は、外部の診療機関で診療を受けます。平成１３年度の通院実績は、延べ２６６名でした。

平成１３年度外部医療機関受診者件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	8	3	7	10	5	9	13	4		2	3	7	71
外科			1	1	1	1	1						5
皮膚科	6	2	6	4	5	1		3	4		12	4	47
耳鼻科	1			1	3	1	1	3		2	1	1	14
整形外科	5	6		2	4	6	7	3		2		1	36
眼科		1	1	1	2	3	1	1		1			11
歯科	10	2	4	7	6	6	12	16	4	4		1	72
婦人科	1							1					2
肛門科													0
泌尿器科	1	4											5
精神科													0
その他	1							2					3
合計	33	18	19	26	26	27	35	33	8	11	16	14	266

3-1-2. 交　流　事　業

研修員のレクリエーションと地元市民との交流促進を目的として、関係各機関のご協力を得て次の行事を実施しました。

（1）ＫＩＣ主催行事

No.	行　事　名	実施日	実施場所	参加研修員数
1	端午の節句飾り	4/2～5/5	九州国際ｾﾝﾀｰﾛﾋﾞｰ	—
2	業務体験セミナー	5/13.16	九州国際ｾﾝﾀｰ	9, 15
3	七夕飾り	7/1～	九州国際ｾﾝﾀｰ	—
4	わっしょい百万夏祭り踊り講習会	8/2	九州国際ｾﾝﾀｰ体育館	在館全員
5	わっしょい百万夏祭り	8/5	小倉北区	在館全員
6	国際協力実体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ交流会	8/17	九州国際センター	20
7	国際協力実体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ交流会	8/20	九州国際センター	21、72
9	国際親善の集い	10/19	九州国際ｾﾝﾀｰ体育館	在館全員
10	国際協力ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	10/7	九州国際センター	当日参加
11	門松飾り	年末年始	九州国際ｾﾝﾀｰﾛﾋﾞｰ	—
12	初詣バスツアー	1/2	ﾏﾘﾝ･ﾜｰﾙﾄﾞ／宗像大社	12
13	雛人形飾り	2/3～3/3	九州国際ｾﾝﾀｰﾛﾋﾞｰ	—
14	高校生との交流会	3/16	九州国際ｾﾝﾀｰ	11

（2）ホームビジット・ホームステイ

①（財）北九州国際技術協力協会主催

No.	行　事　名	実施日	実施場所	参加研修員数
1	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(非破壊検査技術・ﾄﾙｺ/ｴﾈﾙｷﾞｰ管理)	4/28	ホストファミリー宅	7
2	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(ﾌﾟﾗﾝﾄﾒﾝﾃﾅﾝｽ技術・産業環境対策)	5/26	ホストファミリー宅	12
3	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(日墨交流・ﾌﾟﾗﾝﾄ用機械予備品の製作と補修)	6/9	ホストファミリー宅	13
4	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(鋼材の加工と加工特性・ﾌｨﾘｯﾋﾟﾝ／環境)	7/14	ホストファミリー宅	17
5	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(自動制御・設備診断技術)	9/1	ホストファミリー宅	15
6	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(産業医学・産業廃水処理技術)	9/22	ホストファミリー宅	18
7	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(生活排水処理技術・大気汚染ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ実習)	10/13	ホストファミリー宅	15
8	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(ﾊｲﾃｸ機械制御・生産性向上技術業　)	12/8	ホストファミリー宅	14
9	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ　(保全管理)	3/2	ホストファミリー宅	11
10	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ (ﾊｲﾃｸ機械制御)	3/9	ホストファミリー宅	2

②（財）北九州国際交流協会主催

No.	行　事　名	実施日	実施場所	参加研修員数
1	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	4/22	ホストファミリー宅	1
2	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	5/27	ホストファミリー宅	9
3	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	7/28	ホストファミリー宅	4
4	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	9/29	ホストファミリー宅	44
5	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	10/28	ホストファミリー宅	5
6	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	11/25	ホストファミリー宅	0
7	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	1/26	ホストファミリー宅	0
8	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	2/24	ホストファミリー宅	14
9	ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞｯﾄ	3/23	ホストファミリー宅	22

（3）その他の交流事業

No.	行　事　名	実施日	実施場所	主催（招待）者	参加研修員数
1	折り紙教室	4/5	KIC ロビー	前田第四自治区会	7
2	日本舞踊	4/7	八幡市民会館	八幡市民会館祭り実行委員会	6
3	日本舞踊	4/8	八幡市民会館	八幡市民会館祭り実行委員会	8
4	さくら祭り	4/8	さくら通り	JICA	44
5	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	4/14	KIC ダイニング	青年海外協力協会	40
6	折り紙教室	4/19	KIC ロビー	前田第四自治区会	6
7	折り紙教室	5/3	KIC ロビー	前田第四自治区会	1
8	バスハイク	5/12	秋吉台と長府	KITA・国際ﾂﾛﾌﾞﾁﾐｽﾄ北九州	35
9	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	5/12	KIC ダイニング	青年海外協力協会	42
10	ｼﾞｬｽﾐﾝ・ﾃｨｰを味わう集い	5/13	国際村交流ｾﾝﾀｰ	北九州国際交流協会（ＫＩＡ）	2
11	折り紙教室	5/17	KIC ロビー	前田第四自治区会	6
12	ｲﾝﾃﾞｨｱｶ・ﾊﾟｰﾃｨｰ	5/19	国際村交流ｾﾝﾀｰ	八幡東区ｲﾝﾃﾞｨｱｶ・ｸﾗﾌﾞ	7
13	NET WORK' ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	5/24	KIC ダイニング	JICA	8
14	西日本工業倶楽部のタベ	5/24	西日本工業クラブ	KITA・西日本工業ｸﾗﾌﾞ・戸畑ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ	20
15	地球クラブ交流会	5/26	門司	地球クラブ	6
16	ﾌｫｽﾀｰ・ﾍﾟｱﾚﾝﾂ懇親会	5/27	河内貯水池	北九州ﾌｫｽﾀｰ・ﾍﾟｱﾚﾝﾂ協会	3
17	世界のタベ	6/2	ｽﾐｯｸｽ ESTA	北九州大学ﾗﾃﾝｱﾒﾘｱ研究会	11
18	折り紙教室	6/7	KIC ロビー	前田第四自治区会	1
19	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	6/9	KIC ダイニング	青年海外協力協会	33
20	交流プログラム	6/9	KIC 体育館	JICA	4
21	英語で語る女性の人権	6/14	女性ｾﾝﾀｰ	北九州国際交流協会（ＫＩＡ）	2
22	NET WORK' ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	6/18	KIC ダイニング	JICA	7
23	折り紙教室	6/21	KIC ロビー	前田第四自治区会	7
24	英語で話そう	6/23	KIU ホール	九州国際大学商学部	当日参加
25	交流プログラム	6/23	鳴水市民福祉ｾﾝﾀｰ		5
26	ビアパーティー	6/28, 29, 30	ﾚｲﾝﾎﾞｳ・ﾌﾟﾗｻﾞ	中愛おかめの会	8
27	さくら保育所交流会	6/30	さくら保育所	さくら保育所	9
28	七夕飾り	7/4	八幡中央公民館	八幡中央公民館	4
29	折り紙教室	7/5	KIC ロビー	前田第四自治区会	0
30	千代小学校訪問	7/14	千代小学校	千代小学校	9
31	矢岳高原ﾍﾞﾈﾄﾝｵｰﾄｷｬﾝﾌﾟ	7/7, 8	矢岳高原	JICA	14
32	英語で話そうキャンプ	7/8	若松	九国大他生協	0
33	大学生との交流	7/12	大会議室	福岡国際大学	7
34	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	7/14	KIC ダイニング	青年海外協力協会	41
35	折り紙教室	7/19	KIC ロビー	前田第四自治区会	8

No.	行　事　名	実施日	実施場所	主催　(招待)　者	参加研修員数
36	西日本工業倶楽部のタベ	7/19	西日本工業クラブ	KITA・西日本工業ｸﾗﾌﾞ・戸畑ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ	
37	ビアパーティー	7/22	北九州ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ	北九州２１会	3
38	バスハイク	7/29	平尾台	KITA・国際ｿﾛﾌﾟﾁﾐｽﾄ北九州	22
39	博覧際イベント	8/4	博覧際会場	JICA	16
40	盆踊り	8/13,14,15	西本町公園	前田第五自治会	当日参加
41	折り紙教室	8/17	KIC ロビー	前田第四自治区会	0
42	さくら保育所交流会	8/25	さくら保育所	さくら保育所	10
43	ジャズ・フェスティバル	8/25	若松市民会館	若松でジャズを聴く会	25
44	ラジオで各国紹介	8/25	博覧際会場	JICA	1
45	子供ミュージカル	8/25	戸畑市民会館		0
46	インディアカ	9/1	皿倉小学校体育館	尾倉公民館・市民福祉ｾﾝﾀｰ	3
47	博覧際イベント	9/2	博覧際会場	JICA	6
48	折り紙教室	9/6	KIC ロビー	前田第四自治区会	1
49	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	9/8	KIC ダイニング	青年海外協力隊	71
50	ﾊﾞｰﾍﾞｷｭｰ・ﾊﾟｰﾃｨｰ	9/8	門司	地球クラブ	6
51	レッツ・ダンス・サルサ	9/9	国際村交流ｾﾝﾀｰ	北九州国際交流協会（ＫＩＡ）	10
52	プレ・コンサート	9/15	響ホール	北九州区役所	23
53	折り紙教室	9/20	KIC ロビー	前田第四自治区会	6
54	竹末小学校訪問	9/29	竹末小学校	竹末小学校	5
55	国際交流卓球大会	9/29	レディース八幡	レディース八幡	当日参加
56	ロシア・アニメ	9/30	響ホール	北九州映画サークル	14
57	金川中学校交流会	10/2	KIC ダイニング	金川中学校	8
58	折り紙教室	10/4	KIC ロビー	前田第四自治区会	10
59	ASIAN　STAGE	10/6	博覧際会場	北九州市	1
60	祇園太鼓	10/7	KIC 体育館	八幡東中央公民館	18
61	日本舞踊	10/7	KIC 体育館	八幡東中央公民館	24
62	三味線	10/7	国際村交流ｾﾝﾀｰ	北九州国際交流協会（ＫＩＡ）	当日参加
63	EXPO	10/7	博覧際会場	JICA	30
64	曽根小学校訪問	10/13	曽根小学校	曽根小学校	11
65	さくら保育所交流会	10/21	さくら保育所	さくら保育所	5
66	島門小学校訪問	10/20	島門小学校	島門小学校	6
67	菊陵中学校訪問	10/20	菊陵中学校	菊陵中学校	9
68	地球クラブ　定例ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	10/20	門司	地球クラブ	7
69	北九州国際音楽祭	10/20	響ホール	国際音楽祭実行委員会	4
70	KIU　Chamber Music Concert	10/25	響ホール	九州国際大学	20

No.	行　事　名	実施日	実施場所	主催　(招待)　者	参加研修員数
71	南米音楽のタベ	11/1	響ホール	北九州芸術文化振興財団	20
72	折り紙教室	11/1	KIC ロビー	前田第四自治区会	当日参加
73	起業祭交流会	11/4	KIU　ホール	まつり起業祭(八幡ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ)	52
74	コンサート	11/9	響ホール	北九州国際音楽祭実行委員会	13
75	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	11/10	KIC ダイニング	青年海外協力隊	51
76	フリー・マーケット	11/11	KIA　パティオ	北九州国際交流協会（ＫＩＡ）	当日参加
77	折り紙教室	11/15	KIC ロビー	前田第四自治区会	7
78	西日本工業倶楽部のタベ	11/13	西日本工業クラブ	KITA・西日本工業ｸﾗﾌﾞ・戸畑ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ	
79	芦屋町親善パーティー	11/17	芦屋町	芦屋町国際交流協会	19
80	島門小学校訪問	11/17	島門小学校	島門小学校	5
81	広徳小学校訪問	11/17	広徳小学校	広徳小学校	2
82	コンサート	11/17, 18, 23	響ホール	北九州国際音楽祭実行委員会	8, 13, 10
83	ガレージ・セール	11/18	ホテルまつや	ホテルまつや	当日参加
84	コンサート	11/19	九州厚生年金会館	北九州聖楽会	4
85	あやめが丘小学校訪問	12/1	あやめが丘小学校	あやめが丘小学校	3
86	インディアカ大会	12/1	八幡東体育館	八幡東インディアカ協会	3
87	ソプラノ・リサイタル	12/1	響ホール	響ホール	8
88	さくら会ﾁｬﾘﾃｨｰ･ﾊﾟｰﾃｨｰ	12/2	千代公民館	さくら会	5
89	折り紙教室	12/6	KIC ロビー	前田第四自治区会	0
90	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	12/8	KIC ダイニング	青年海外協力隊	5
91	さくら保育所　餅つき	12/8	さくら保育所	さくら保育所	1
92	レセプション	12/13	KIC ダイニング	JICA	全員参加
93	ユネスコ親善パーティー	12/15	海峡メッセ	下関ユネスコ協会	0
94	クリスマス･年末パーティー	12/16	下関	地球クラブ	0
95	クリスマス･パーティー	12/19	九国大	九州国際大学	当日参加
96	バス・ツアー	1/2	マリンワールド	JICA	12
97	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	1/12	KIC ダイニング	青年海外協力隊	27
98	守恒中学校訪問	1/19	守恒中学校	守恒中学	2
99	八児小学校訪問	1/19	八児小学校	八児小学校	8
100	原市民福祉センター	1/19	葛原小学校	原市民福祉センター	6
101	フットサル	1/26	前田市民福祉ｾﾝﾀｰ	前田市民福祉センター	7
102	バスツアー	2/2	秋吉台	KITA	24
103	大蔵小学校訪問	2/2	大蔵小学校	大蔵小学校	9
104	島戸小学校訪問	2/2	島戸小学校	島戸小学校	4
105	北九州盲学校	2/5	KIC ラウンジ	北九州盲学校	3

No.	行　事　名	実施日	実施場所	主催　(招待)　者	参加研修員数
106	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	2/9	KIC ダイニング	青年海外協力隊	40
107	大原小学校訪問	2/16	大原小学校	大原小学校	15
108	さくら保育所	2/16	さくら保育所	さくら保育所	6
109	生け花と茶	2/24	KIA	KIA	1
110	南丘小学校訪問	3/2	南丘小学校訪問	南丘小学校訪問	3
111	前田小学校訪問	3/3	前田小学校訪問	前田小学校訪問	4
112	マレイシア新国王即位ﾊﾟｰﾃｨｰ	3/6	マレイシア友好協会	マレイシア友好協会	0
113	折り紙教室	3/7	KIC ラウンジ	前田自治会	14
114	芦屋国際交流茶会	3/9	芦屋町	芦屋町国際交流協会	21
115	ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	3/9	KIC ダイニング	青年海外協力隊	45
116	修猷館高校生デベート	3/10	KIC セミナー1,2	JICA	10
117	西日本工業クラブ	3/12	松本邸	KITA	32
118	九州女子学園生徒との交流	3/16	KIC 体育館	JICA	9
119	西南女学院高校卒業記念ｺﾝｻｰﾄ	3/20	響ホール	西南女学院高等学校	2
120	バスツアー	3/21	マリンワールド	JICA	39
121	折り紙教室	3/21	KIC ラウンジ	前田自治会	2
122	スプリングキャンプ	3/24	KIC セミナールーム	JICA	14
123	スプリングキャンプパーティー	3/24	KIC ダイニング	JICA	当日参加
124	ユニセフ体験プログラム	3/30	KIC 体育館	ユニセフ	20
125	ユニセフパーティー	3/30	KIC ダイニング	ユニセフ	当日参加

３－２．講師のための英語研修

本研修は、技術研修の効果を高めるため、当センター所管の研修に従事する講師等を対象に行うものです。平成１３年度の受講者数は、２８名でした。

〔平成１３年度ＪＩＣＡ英語研修実績〕

グループ	期　間	回数	研修委託先	受講者数
A	2001.6.18～2001.6.22	4	㈱アルク教育社	9
B	2001.6.25～2001.6.29	4	〃	11
C	2001.7. 2～2001.7. 6	4	〃	8

Ⅳ. 九州国際センターの施設運営と予算

Ⅳ．九州国際センターの施設運営と予算

１．施設の概要

（１）所　在　地

住　　所　　福岡県北九州市八幡東区平野２丁目２番１号

郵便番号　　８０５－８５０５

電話番号　　０９３－６７１－６３１１㈹

ＦＡＸ番号　０９３－６６３－１３５０

（２）建 物 規 模

構　　造　　本館　鉄筋コンクリート造

地上３階地下１階

宿 泊 棟　　鉄筋コンクリート造

地上６階

敷地面積　　１３，０００㎡

建築面積　　４，３３０㎡

延床面積　　１０，９０６㎡

（３）主 要 施 設

（本　館）管理・研修棟

１階　　ロビー、フロント、食堂、図書室、所長室、事務室、応接室、会議室

２階　　セミナールーム、講師控室、小会議室、研修監理員室

３階　　大会議室、セミナールーム、実習室、コンピュータルーム、オリエンテーション／ブリーフィングルーム

（宿泊棟）

１階　　ラウンジ、飲み物等自販機、オーディオルーム、健康相談室、和室、タイプ室

２～６階　　宿泊室（１４５室、１５０ベッド）

全室バストイレ、電話（内線）、テレビ付

各階に洗濯、乾燥機、アイロン室、給湯器、製氷器

３階および５階に自販機

シングル　１４０室（１８㎡／室）
ツ イ ン　　５室（３３㎡／室）

（体育館兼講堂）

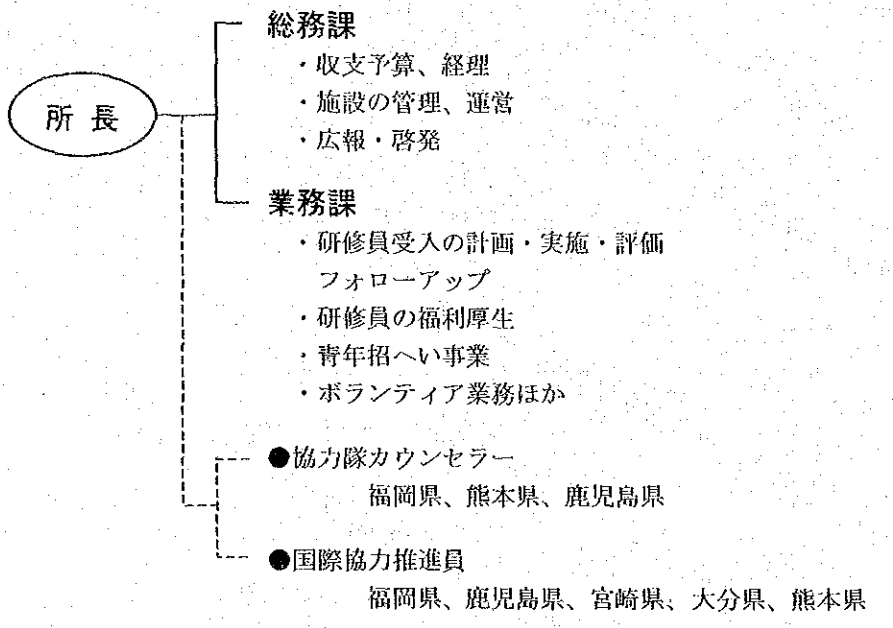
１階　　バレーボール、バスケットボール、卓球、バトミントン、インドアサッカー設備、各種アスレチック設備、映写施設付設／テニスコート１面あり（屋外）

（庭　園）　桜、ツツジ、アラガシ、ツバキ等の樹木に囲まれた芝生があり、四季折々に小鳥のさえずりが聞こえる。

２．組織と業務分掌

（１）組　　織

当センターには、所長の下に総務課と業務課が置かれています。



（２）業 務 分 掌

総務課：センターの運営に関する総括業務およびＪＩＣＡの広報、開発教育、小規模開発パートナー事業、財務・会計、文書の整理、センター運営規則管理、不動産・施設・物品の管理、研修員の宿泊管理

業務課：研修計画の作成および研修の実施・評価に関する業務、技術研修の計画作成・実施・監理・評価、日本語研修の計画・実施・評価、研修員に対するオリエンテーションの計画・実施・評価、研修教材の

開発・管理、研修員の生活指導・相談・福利厚生、青年招へい事業の地方プログラムの実施、青年海外協力隊・シニア海外ボランティアに関する相談、募集および選考、帰国隊員への進路相談業務、海外日系社会に対する支援業務、技術協力専門家派遣事業、開発投融資業務、国際緊急援助隊事業

＊①ブリーフィング、オリエンテーション、日本語研修及び②建物等の管理・運営業務については、次の外部組織へ委託し、実施しています。

①財団法人日本国際協力センター

②第一建築サービス株式会社

３．宿泊利用実績

平成１３年　月別利用実績表

区分＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
延利用人／日	1,825	2,375	2,537	2,903	3,714	4,063	3,932
利用率(%)	42.0	52.8	58.3	64.6	82.6	93.4	87.5

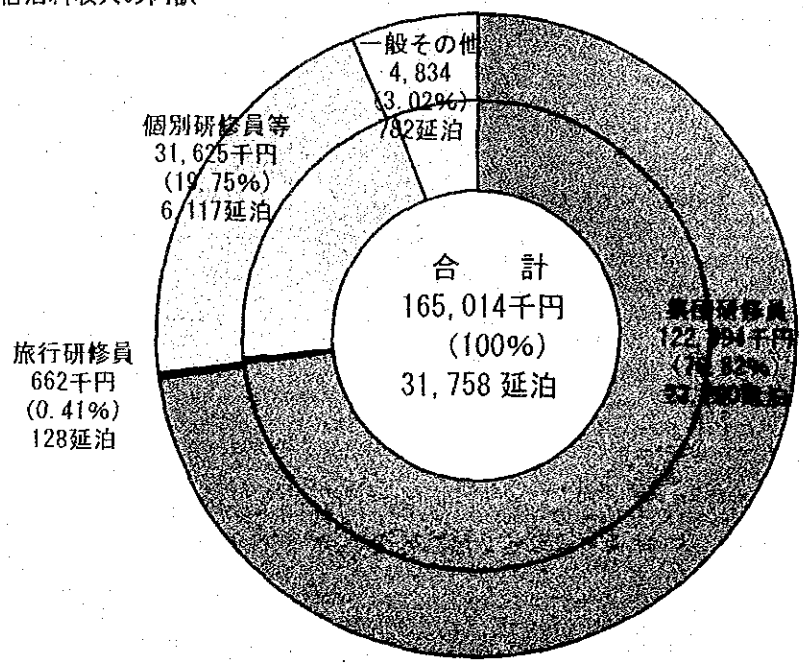
区分＼月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
延利用人／日	3,336	1,014	1,420	2,241	3,372	31,732	2,644
利用率(%)	76.7	22.6	31.6	55.2	52.8	—	60.0

4．平成１３年度収支予算実績

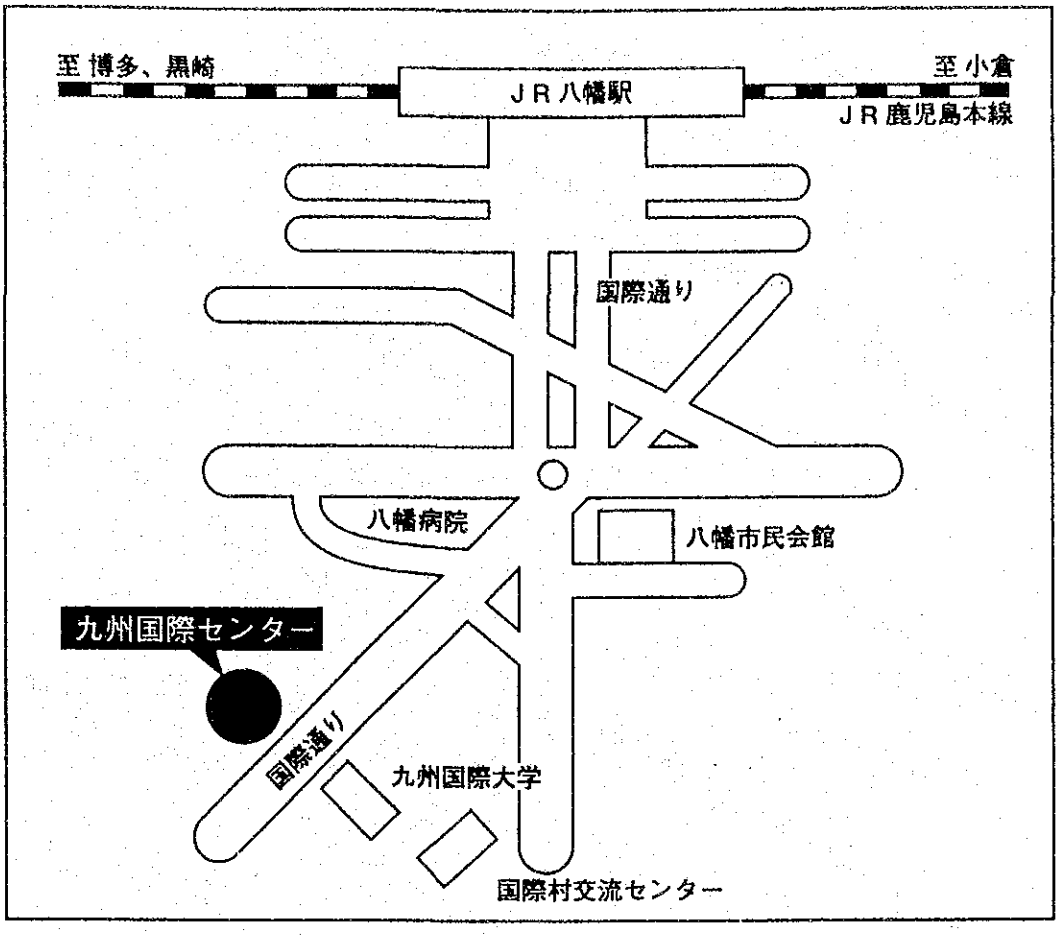
（単位：千円）

科　目	金　額	備　考
（収　入）	213,423	
施設利用収入	213,325	※内訳は下図参照
雑収入	97	宿泊料　165,014
運営補助収入		施設利用料　48,311
（支　出）	1,664,570	
事業費	1,354,656	
出資金等施設整備費	33,390	
管理費	63,101	
施設運営費	213,423	

※宿泊料収入の内訳



５．九州国際センター付近略図及び交通手段



☆最寄り駅：ＪＲ 八　幡　駅　　徒歩約１０分

☆新 幹 線：ＪＲ 小　倉　駅　　ＪＲ乗換で八幡駅まで約１５分

☆福岡空港：ＪＲ博多駅経由　　約７０分
　　車（高速道路利用）　　約６０分

JICA